

1 学校教育目標

・自ら学び目標をもって努力しよう ・互いに尊重し助け合おう ・困難に耐え心と体を鍛えよう

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付けさせる学校 ・心身ともに健やかな生徒を育てる学校 ・生徒、保護者、地域から信頼される学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・目標をもち、自ら進んで学習に取り組む生徒 ・礼儀や思いやりを大切にし、規律ある行動ができる生徒 ・心身ともに健康で、何事にも一生懸命に取り組む生徒
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向け、日々、研究・実践に努める教師 ・生徒一人一人を理解し、生徒の健全育成に努める教師 ・教育公務員としての自覚と誇りをもって職務に励む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

○学校について

〔よさ〕落ち着いた雰囲気の中で、日々の教育活動が継続して行われている。

〔課題〕「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間力等」をさらに高める教育活動を意図的・計画的に推進する。

○生徒について

〔よさ〕自らの所属する集団を、より良い集団にするために考え、行動しようとする生徒が大多数である。

〔課題〕学習や諸活動において、現状に満足せずより高い目標をもって挑戦する姿勢を養う。

○教師について

〔よさ〕授業改善に向け努力するとともに、学校全体で協力して課題解決しようとする集団である。

〔課題〕自校やその他の教育課題を明確にし、組織的な解決ができるような共通実践とする。

○保護者・地域について

〔よさ〕保護者・地域の方は、共に本校の卒業生が多く、学校の教育活動を理解し協力的である。

〔課題〕生徒のよさ・課題などについて共有し、コロナ禍においてもできることを考え、保護者・地域と連携して育てていく体制を見直し進める。

【前年度の成果と課題】

〔成果〕「授業が分かる」「授業が楽しい」「勉強は大切だ」と感じている生徒が前年度並み、又は増加した。

不登校生徒について、組織的に対応し、関係諸機関との連携を推進することができた。

〔課題〕学んだ事柄を使って、論理的に物事を考え、表現できる力を身に付けさせる。

不登校生徒について、校内支援委員会を軸に関係諸機関とも連携し、個々の状況に合わせた支援体制をさらに充実させる。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	生徒の健全育成	○	○	○	○	○
3	関係小学校や家庭・地域との連携	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン
-------------------	--------------

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
主体的に学習に取り組む生徒の育成	令和5年度区調査通過率65% 年度末到達度確認テスト正答率60%		自己評価の際に記入	

B 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	「勉強が好き」増加 作戦	全教科	通年	進んで学習に取り組む生徒の育成を目指す ・足立スタンダードに基づいた授業の実践 ・論理的に考え、伝える力を養い、自らの学習を調整し、深い学びをさせる。 ・校内授業研究を全教員が1回以上実施（学習指導案作成） ・教科指導専門員などの活用、OJT組織の活性化による授業改善	・生徒アンケート ・振り返りシート ・单元テスト等による理解度の確認	・「授業が分かる」85%以上 ・「授業が楽しい」80%以上 ・「授業で振り返りをしている」70%以上 ・「分かりやすい説明を心がけている」60%以上	自己評価の際に記入		

2 継続	家庭学習 の充実	全生徒	通年	主体的な家庭学習の定着 を目指す ・「家庭学習ガイドブック」 の活用による家庭学習の 取り組み方の指導、保護者 会等での家庭への啓発 ・定期考査前の「学習計画 表」の作成	・生徒アンケ ート ・自主学習ノ ート ・デイリーラ イフ（生活記 録）での確認	・「家庭学習で の勉強内容、方 法がわかる」 70%以上 ・家庭学習1日 1時間以上 50% 以上 ・提出物 90%以 上
3 継続	放課後補 充教室	全生徒、 各教科の つまずき のある生 徒及び希 望生徒	週3回	未習熟な学習内容の解消 ・必要な学習を行う自学自 習（A Iドリル等の活用） ・個別指導によるつまずき の解消（A Iドリル等の活 用）	・区学力調査 を活用した到 達度確認テス ト ・定期テスト	・年度末に行う 到達度確認テ ストでの対象 生徒の正答率 アップ
4 継続	I C T の 活用	全教科及 び5教科	通年	分かりやすい授業を行い、 生徒個々の学習課題克服 に活用 ・デジタル教科書（生徒用） ・Chromebook の活用 ・A Iドリルの活用	授業観察	・各教員が学習 の単元で2回 以上は活用
5 継続	朝学習 朝読書	全生徒	通年	1日の落ち着いたスタート ・基礎的な学習内容のプリ ント、A Iドリルの活用 ・読書（2週間を年2回） ・実施時期、内容は年間計 画に基づく。	・朝学習は回 収し確認 ・朝読書には 担任も一緒に 取り組む。	・全員が朝学 習、朝読書に取 り組む

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－２		生徒の健全育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒が秩序と主体性をもって行動できる学校づくり		生徒アンケートの関連項目で肯定的回答 80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基本的な生活習慣の徹底	TPOに合わせた言動、チャイム着席、あいさつ等ができる落ち着いた学校の実現	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の内発的な動機から、主体的に校内の環境を整える力を育成する。 指導者の考え方から、指導の目的、ねらいを明確にする。 	自己評価の際に記入		
主体的に考え、行動できる生徒の育成	生徒アンケートにおいて、生徒の主体性、達成感に関する項目 80%以上	学級、学年など自らが所属する集団を、より良い集団にするために、生徒会活動等を活性化する。学校行事、学年行事の育成の機会とする。			
いじめ、不登校への対策	いじめの根絶を目指すと共に、関係諸機関との連携を図ることで不登校生徒の支援	<ul style="list-style-type: none"> SNS 学校ルールの徹底、セーフティ教室など、あらゆる機会に人権を意識した言動を校内で共通実践とする。 校内支援委員会の充実、関係諸機関との連携、WEBQUの活用により、不登校の未然防止、登校（行動）支援をする。 			
道徳教育の推進	各学年で検討した共通の指導案での道徳授業を年2回実施	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育推進教師を中心とした組織体制をもとに、各学年で指導案を検討し、「考え、議論する道徳」を実施する。 道徳授業地区公開講座時の保護者、地域の方の参加を促し、道徳教育の意識を高める。 			

重点的な取組事項－3		関係小学校や家庭・地域との連携			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域から信頼される学校づくり		学校評価アンケートにおける関連項目の肯定的回答 80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携	小学校との合同研修会を年7回実施	・連携校で共通した研究テーマを掲げ、教科別又は柔軟な枠組みで分科会を設定し、授業改善、健全育成に役立つ内容の研修を行う。	自己評価の際に記入		
家庭との連携、協力	学校評価アンケートにおける関連項目で肯定的回答 80%以上	学校便り、各種便りやホームページによる学校の情報発信、保護者とのきめ細かい連絡をとおして、保護者と教員の信頼関係を強固にする。			
地域との連携、協力	地域行事に年1回以上参加する生徒、教員が6割以上	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動、六中マルシェ、地域運動会、荒川ウォーク、住区まつりなどへの参加を呼びかける。 ・地域の方への情報の発信、学校公開をとおして、教育活動への理解を深める。 ・コロナ禍で実施できるものを協力しながら考えていく。 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。